

競技上の注意

〈競技者〉

1チームの登録選手は20名までとし、競技者は10名とする。
登録選手が10名以上の場合は、途中で交代することができるが、1度試合を退いた選手は、再度その試合に参加することはできない。

〈施設と道具〉

一般の部	塁間	16m	ボール12インチ
オープンの部	塁間	14m	ボール11インチ

- ・ 各部門とも、グローブの使用を認める。グローブは各チームで用意すること。1コートにつき5個の貸出用グローブがある。紛失には注意すること。試合終了後にグローブの個数を運営にて確認する。
- ・ バット・ボール・バッティングティーは運営側で用意する。

〈打撃規定〉

- ① 打者は審判が「プレイ」と宣告した後、バッティングティーの載せたボールを打つ。
- ② 打撃時の軸足の移動は1歩までとする。2歩以上動かして打った時は、ストライクとなり、2ストライクからこれを行った時は、打者は三振によりアウトとなる。
- ③ 打ったボールが半径3mの円から出ない場合はファウルである。
- ④ 打った後、バットを半径3mの円の外に投げた場合、打者はアウトになる。
- ⑤ 打者がボールを打たないでティーだけを打った時は空振りでストライクとなる。2ストライクからティーだけを打った時は、打者は三振によりアウトとなる。
- ⑥ 2ストライクからファウルを打った時は、打者はアウトになる。
- ⑦ バントやプッシュバントは認められない。それらを行った時は、ストライクとし、2ストライクから行った時は、打者はアウトになる。

〈打者走者がアウトになるとき〉

- ① 打者走者がフェアエリアで打球に触れたとき。
- ② フライやライナーが野手によって、ノーバウンドで正しく捕球されたとき。
- ③ 打者走者1塁に達する前に、ボールを保持する野手にタッチされたとき。
- ④ 打者走者が1塁に達する前に、野手が1塁ベースにボールを保持して触れたとき。

〈走塁規定〉（走者がアウトになるとき）

- ① 走者は打者が打った後のみ、離塁することができる。
走者の離塁が早い時は、走者は離塁アウトとなる。
したがって、盗塁は認められない。
- ② スライディングは禁止とする（スライディングをした場合、その走者はアウトとなる）。
その代わりに、走者の各塁の駆け抜けは認められる。走者が駆け抜けた後、次の塁に向かうことなく、まっすぐに塁を踏み越せば、塁を離れて触球されても走者はアウトにはならない。
- ③ 走者が離塁中にボールを保持した野手にタッチされたとき。
- ④ 走者が野手のタッチを避けようとして、塁間を結ぶ直線から両側1m以上離れて走ったとき。
- ⑤ 走者が次の塁に進塁しなければならない状況で、塁に達する前に野手がボールを保持し、その塁に触塁したとき。
- ⑥ 走者が、まだアウトになっていない先行する走者を追い越したとき。

〈走者が進塁できるとき〉

- ① 打者の打球がフェアボールのとき。
- ② フライやライナーが野手によって、ノーバウンドで正しく捕球されたとき。
この場合最初の野手にボールが触れた時に、離塁・進塁できる。
- ③ フェアボールが不可抗力で、審判員及び塁上の走者に触れたとき。

〈守備位置〉

